

栃木県総合教育センターだより

# 学びの杜通信

第96号 令和6(2024)年2月5日発行



## 第24回栃木県教育研究発表大会 実施報告



「生涯学習部会」の様子



「教育講話Ⅰ」の様子



「教科における探究部会」の様子

令和5(2023)年度栃木県教育研究発表大会〔1月26日(金)・27日(土)実施〕を、オンライン(Zoom 配信)で開催し、延べ1,594名の皆様に御参加いただきました。オンライン開催のメリットを生かし、遠方の方や県外の方からも多くの参加がありました。御発表、御参加いただいた皆様及び御協力いただいた関係者の皆様、ありがとうございました。

大会は二日間に渡って17の部会が開催され、県内各教育機関における学校教育及び生涯学習に関する実践研究の状況や成果等について、発表や座談会などの方法で配信されました。発表者による熱の込められた発表、オンラインを通じた質疑応答、発表を踏まえた専門家(宇都宮大学及び県外大学の先生等)からの助言等、どの部会も充実した有意義な時間となりました。

また、玉川大学大学院の久保田善彦教授による教育講話「GIGA スクール時代の授業改善」では、教師が授業観を転換する必要があることなどについて、早稲田大学大学院の田中博之教授による教育講話「探究授業の創り方」では、各教科における探究的な学習の在り方などについて、御講話をいただきました。いずれも示唆に富む内容で、授業デザインを見直す機会となりました。

どの部会も円滑に進行することができ、参加者アンケートからも肯定的な御意見を多数いただきました。本研究発表大会が、明日を担う子どもたちのために、栃木の教育力の向上につながっていくよう、今後も努めて参ります。

### 参加した方々からの声を紹介します

#### 【「ICTを活用した授業づくり部会(小・中)」の参加者】

家庭科におけるICTの活用について、多くのことを学ばせていただきました。全時間においてICTを活用できる場面があることに驚きました。とても分かりやすくまとめてくださり、大変参考になりました。今後の授業づくりに生かしていきたいです。

#### 【「教科における探究部会(高)」の参加者】

各教科の授業に探究をどう取り入れるか、どの学習内容に焦点を当てるかがとても難しいと感じていますが、本部会の先生方の取組から多くの示唆をいただきました。本日の発表内容を参考にしながら、深い思考と対話につながる取組をしていきたいと思います。

【問合せ先】栃木県教育研究発表大会実行委員会事務局(研究調査部 TEL 028-665-7204)